

学校だより

第22号
令和7年度

いつも心にあいうえお

令和8年3月18日(水)

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野修

自分の素晴らしさ

「ぞうさん」の歌は知っていますか？

ぞうさん ぞうさん おはながながいのね
ぞうよ かあさんもながいのよ

この歌からどんなことを思い浮かべますか。ぞうの子どもとお母さんが仲良く暮らしている「仲良しこよし」の歌だとおもわれますね。私もそうだとばかり思っていました。

ところが、この「ぞうさん」の歌を作詞したまどみちおさんによると、そうではないらしいです。「そうではないのです。ぞうの子が鼻が長いとけなされている歌なのです」というのが、この歌をつくったまどさんの説明です。つまり、「ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いのね」とは、親しみをこめた子象への呼びかけではなく、「へんな鼻、長くてみっともない鼻」とけなしたいじめの詩だということです。けれども、子象はそうけなされても、しょげたり落ち込んだり泣いたりしません。むしろ、元気に、明るく「ぞうよ 母さんもながいのよ」と、ほめられたかのように「大好きな母さんの鼻と同じように長いんだ、立派なんだぞ」と威張って答えているわけです。そこには、この歌を作ったまどさんの考えがあります。「象が象に産まれたことを誇りに思い、素晴らしいと思っている」からだということです。生き物全てが「自分が自分であること」を誇りとし、喜んでいるというのがまどさんの自然に対する考え方です。・私達もそれぞれに違いがあり、個性があるから意味があり、素晴らしいということですね。

今年度も終わります。お世話になりました。生徒本人と、支えて下さる家族の方々、そして支援する私達学校が一緒になって取り組むことで、それぞれが自分の素晴らしさが発揮でき、輝けるのだと考えています。

また、2026年度もよろしくお願ひします。はじめての卒業生を送り出す年になります。なお一層、自分の素晴らしさに気づき、それを謙虚な気持ちで受け止め、新しい世界にジャンプできるように支援した思います。

生徒のコーナー

2年:T・Y君

●研修・研究発表会の感想

急ぎで作ったパワーポイントで不安だったが、うまくできていたようで反応が良くてよかった。

ワード(レポート)はまとめるのに難航した。考察が短くなったので、次は考察の部分を増やしたい。

●子ども未来の宿泊学習に参加して

コミュニケーションがうまく出来なかった。次はもっと積極的に話そうと思う。

イベント自体は楽しかった



1年:Y・K君

●研修・研究発表会の感想

自分で調べて発表と言うことをして、自分はこう思った。最初は正直やる気はなかったけど、先輩のTさんほもっと大変というのを知って、自分もやらないと思っただ。そして、やったこともないパワーポイントでちゃんつくれるのかなあーと不安がとてもしばいになった。だけど自分なりにしっかり完成できた。この授業を通して思ったことは、やればできる、人前でこういった発表をするのはとても大事と自分は感じた。

●子ども未来の宿泊学習に参加して

自分は1日しか体験できなかったけど、1日でもいろいろな体験が出来て良かったと思った。やったことのないことをしてみても感じたことは、意外とやってみないとわからないと改めて感じた。そして、こういった交流をすることは、コミュニケーション能力も高まるし、いい経験ができたと思った。

那覇尚学院高等専修学校教材園

チューリップからインパチェسس・ベゴニアへ

今年の1月から校舎の建物の58号線側に専修学校の教材園をみんなで作りしました。最初の花は、チューリップを植えました。道行く人たちに人気です。「ここを通るのを楽しみにしています」と声をかけてもらい、作業も楽しくやっています。

